

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. はじめに

- (1) 2020年は、日中友好協会創立70周年を迎えた。記念式典や記念事業を準備してきましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の流行拡大により、記念事業はじめ多くの事業に影響をおよぼし、やむを得ず中止や延期となった。（以下の文中の「中止」や「延期」は新型コロナの要因による。）
- (2) 2020年1月、中国で新型コロナの流行が伝えられると各都道府県日中友好協会（以下「県協会」という。）は義援金募金活動を行い、1,000万円余りの義援金を中国大使館や各地総領事館にお渡した。また、マスクや医薬品を中国への寄贈も行った。
3月には日本で新型コロナの流行拡大が始まり、中国から当協会をはじめ各地の県協会等にマスクや医薬品が送られてきました。困難な時お互いに助け合う民間の日中友好の精神が発揮されました。
- (3) 残念ながら新型コロナは、日中関係にも大きな影響をもたらした。2020年春、習近平国家主席の国賓としての来日が延期となり、改善しつつあった日中関係は一步後退を余儀なくされています。

2. 協会創立70周年記念事業

(1) 記念式典（永年会員の表彰）

各県協会の会員年数が継続して25年以上である会員を永年会員として表彰した。該当した個人1,000名と法人及び団体の代表201名、合わせて1,201名に表彰状と記念品をお贈りした。なお、記念式典が開催することが出来なかったため、表彰式は取り止めた。なお、一部の県協会が表彰式を実施した。

(2) 70年史の発行

協会創立70周年を記念し、創立から今日までの記録をまとめた記念誌「日中友好運動七〇年～日中友好の歩み～」は、当初9月発行で編集作業を進めたが、遅くなり11月発行になった。

3. 協会の組織運営

(1) 今年度は、定時総会1回、定例理事会3回及び業務執行理事会3回を開催した。

第12回定時総会（7月15日開催、書面議決）は2019年度事業報告と収支決算報告の承認及び任期満了に伴い新役員を選任した。

第37回臨時理事会（7月22日開催）は代表理事（会長、理事長）と業務執行理事（副会長、専務理事及び常務理事）を選定した。第39回定例理事会（3月11日開催）は2021年度事業計画と収支予算を承認した。

(2) 2018年12月末現在、41の都道府県日中友好協会（以下県協会と略す）が入会している。
休会は徳島県、滋賀県、愛媛県の3県、未入会は宮崎県の1県。未組織は島根県、長崎県の2県である。

(3) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、福井県、三重県、大阪府、和歌山県、岡山県（15県協会）

なお、12月22日全国青年委員会総会を開催。

女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、熊本県、大分県（21県協会）

なお、6月27日 全国女性委員会設立35周年記念誌「あゆみ」を発行。

10月25日 全国女性委員会総会を開催。

4. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 代表団・訪中団等の派遣、(2) 代表団・訪日団等の受入及び(3) 中国関係機関との交流は、新型コロナにより渡航制限となり、訪中及び来日は困難のため該当事項無。

(4) 在日中国機関との交流

4月 9日 * 蔡紅公使参事官が中国民族医薬学会国際与合作分会からの
マスク及び医薬品を協会に届けるため来訪。

5月27日 * 蔡紅公使参事官がマスクを寄贈のため来訪。

6月 3日 * 岡崎温理事長、中国大使館を訪問。蔡紅公使参事官と懇談。

11月19日 * 岡崎温理事長、中国大使館を訪問。聶佳参事官と懇談。

12月 3日 * 丹羽宇一郎会長、林松添中国人民対外友好協会会長とオンライン会談

12月24日 * 揚宇公使来訪、岡崎温理事長と懇談

(5) その他

10月17日 * 浙江省文化と観光庁「万名日本観光客は詩と絵の浙江に入る」
キックオフミーティング

11月10日 * 繋ごう～山東とフォーチュン・グローバル500～日本交流会議（）

12月14日 * 「禅の芸術」東京書画展暨日本巡回展開幕式

1月 9日 * 第15回名古屋中国終節祭の劇場版)

2月16日 * 日中芸術交流展 山田ゆかり×武楽群“響き合う世界”関係者内覧会

5. 中国語普及事業

(1) 第38回全日本中国語スピーチコンテスト

第38回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会は1月10日、都内で開催予定であったが、新型コロナによる緊急事態宣言が初出され急きょ中止し、音源審査に変えた。

1月10日（大会開催予定日）、審査員による高校生部門6名、一般部門6名、大学生部門

10名の大会出場予定者の音源審査を実施した。

最も優秀な人に贈られる日中友好協会会長賞には千葉県の大学生部門・岩佐菜々子さんが受賞した。各部門の優勝者は次の通り。

高校生部門 大窪綾香さん（福井県）
一般部門 高橋真珠さん（埼玉県）
大学生部門 岩佐菜々子さん（千葉県）

なお、都道府県大会は、20箇所で開催135名が出場。該当県協会から高校生部門12名、一般部門12名、大学生部門14名のエントリーがあり、11月22日に音源審査を行い、全国大会出場者を選考した。

朗読部門には、中学生・高校生の部12名、大学生・大学院生の部13名、一般の部10名がエントリーした。音源審査の結果、各部とも3名が入賞した。都道府県大会には、253名が出場した。

6. 留学生派遣事業

(1) 2020年度公費留学生派遣

中国教育部及び中国大使館教育部の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、18名（2名辞退）が決定した。しかし、新型コロナのため中国への留学は実現していない。一部はオンライン授業を受講している。

7月21日 中国大使館教育部より入学許可書を受領。

8月 例年開催している中国大使館教育部主催の「2019年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」は、中止となった。

9月1日 中国留学研修会を開催。（オンライン）

2021年3月末現在、一部はオンライン受講を継続している。

(2) 2021年度公費留学生募集・選考（2021年9月留学）

1月5日～1月20日 出願受付（応募者数33名）

1月22日 第一次選考（書類審査） 28名合格

2月7日 第二次選考（面接試験） 内定20名。補欠内定2名。補欠2名。

3月10日 中国大使館教育部に公費留学申請書提出。

(3) 「留学生友の会」

開催中止。

7. 日中友好協会アリアケジャパン奨学金

(1) 2020年度は、3名の在日中国人留学生に奨学金の支給を行った。なお、授与式は中止。

(2) 2021度に奨学金の支給を希望する在日中国人留学生の募集・選考。

11月27日～12月3日 応募受付（応募者数87名）

1月21日 第一次選考（書類審査）15名合格。

3月6日 第二次選考（面接試験）内定3名。補欠3名。

※内定者の内、4月上旬進学を確認の書類を提出した者が合格となり、1年間奨学金を受ける

8. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 日中友好7団体提携

1月28日 日中友好7団体は孔鉉佑大使とオンライン会合を開催

(2) 後援・協力は公演・展覧会等27件

9. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は毎月1日付け、12回発行。

通常は12ページ。5月1日付け、6月1日付け及び7月1日付けは新型コロナにより8ページで発行。

② 「友好手帳」2021年版を9月に発行。

③ 雑誌「人民中国」の販売。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため、2020年度中、中止や延期した事業は次のとおりである。

【中止した事業】

1. 協会創立70周年記念事業「記念式典及び祝賀行事（東京及び北京）」
2. 日中友好ポーリング大会
3. 日中友好広場舞文化祭と日中文化・体育、科学技術産業合作 東京シンポジウム
4. 日中友好7団体提携「2021年中国大使館・日中友好団体新年会」
5. 「東西2ブロックに分けて協会実務者会議」
6. 「2021年日中友好新年会」（NPO）東京都日中友好協会と共催

【2021年度に延期した事業】

1. 協会創立70周年記念事業「日中友好協会会員所蔵中国美術工芸品展」（仮称）
2. 第17回日中友好交流会議

以 上